

## 現 状

- 農用馬〔重種馬〕
  - ・ 繁殖開始年齢2才の割合は低下、長期的な推移では受胎率・生産率は下降傾向で推移。受胎率と生産率の乖離が大きい
  - ・ 生産・飼養頭数は減少傾向
- 競走用馬〔軽種馬〕
  - ・ 国内産馬の能力は向上し、海外産馬に比肩
  - ・ 生産・飼養頭数は減少傾向
- 乗用馬
  - ・ 馬の利用目的の多様化を背景に、飼養頭数は増大傾向
  - ・ 祭事等馬文化の継承に加え、ホースセラピー、教育・観光等、その利用目的が多様化
- 在来馬
  - ・ 飼養頭数は、北海道和種が減少傾向、その他（木曾馬、御崎馬等）は横ばい
  - ・ 祭事等馬文化の継承に加え、ホースセラピー、教育・観光等、その利用目的が多様化



## 課 題

- 農用馬〔重種馬〕
  - ・ 生産者、種雄馬管理者の減少や高齢化の進展を踏まえた飼養管理技術の向上及び優良純粋種の維持確保
  - ・ 客観的な能力評価手法の確立
- 競走用馬〔軽種馬〕
  - ・ 人気種雄馬に種付けが集中することによる血統の偏重化への配慮
- 乗用馬
  - ・ 生産・馴致・調教のための技術者や施設の確保
  - ・ 客観的な能力評価手法の確立
  - ・ 利用目的毎の需要に即した多様な利活用に関する情報共有
- 在来馬
  - ・ 生産・馴致・調教のための技術者や施設の確保
  - ・ 希少性に配慮した品種の保存
  - ・ 利用目的毎の需要に即した多様な利活用に関する情報共有